

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年9月1日（月）～平成26年9月7日（日）〔平成26年第36週〕の感染症発生状況

第36週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)ヘルパンギーナ 3)手足口病でした。

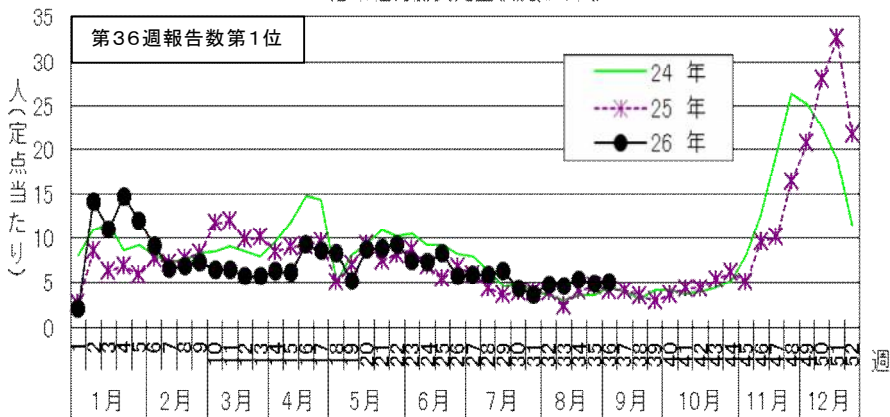
感染性胃腸炎は定点当たり5.03人と前週（4.94）から患者報告数はほぼ横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナは定点当たり1.70人と前週（2.31）から患者報告数はほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

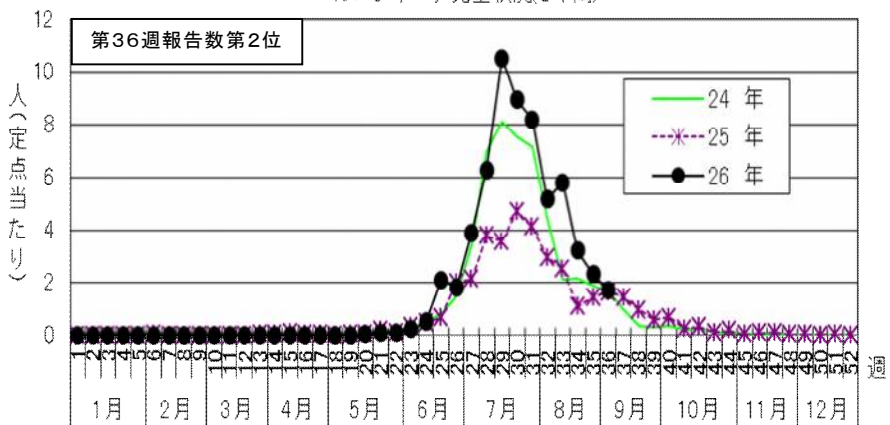
手足口病は定点当たり1.12人と前週（0.88）より患者報告数は増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



～食中毒予防に有効な加熱・消毒方法～

例年、夏期には細菌、冬期にはウイルスが原因となる食中毒事例が増加します。

今年は、9月2日までに全国で427事例の食中毒事例が報告されており、9月以降もノロウイルスやカンピロバクターなどを原因とした事例の増加が推測されます。

有効な加熱・消毒方法は以下のとおりです。

有効な加熱・消毒方法

1 十分な加熱

中心部まで85～90℃で90秒以上

2 アルコールでの消毒

手指などは消毒用エタノール（76.9～81.4v/v%）を使います。

手を石けんで洗い、乾燥させた後に消毒してください。

※ただし、消毒用エタノールは、ノロウイルスにはあまり効果がないと言われています。

3 次亜塩素酸ナトリウムでの消毒

細菌やウイルスなどを失活させるためには、**次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）**を使用します。

調理器具などは、必ず中性洗剤などで十分に洗浄した後に、**塩素濃度0.02%の次亜塩素酸ナトリウム**で浸すように拭きましょう。

※次亜塩素酸ナトリウムは、商品に記載してある使用方法をよく確認して使用してください。

<原液濃度6%の場合>

